



世界に希望を生み出そう

WEEKLY REPORT

高松東ロータリークラブ 週報

会長:藤井 武志 幹事:藤野 譲二

Rotary



高松東ロータリークラブ

プログラムのご案内

今週

(創立第2606回) 令和05年08月01日

卓話「路線価あれこれ」

会報・雑誌・IT委員会
委員長 長尾 直樹 君

次週

(創立第2607回) 令和05年08月08日

親睦夜間例会 (ビアガーデン)

クレメントホテル高松 3F 飛天の間 18:30~

前週例会レポート

創立第2605回例会出席報告 令和05年07月25日

前々回の訂正	会員総数	出席免除会員
07/11 100%	46名	(a)1名 (b)9名
出席計算に用いた会員数	出席会員数	出席率
40名	32名	80.00%

会長報告

会長挨拶・報告を致します。

本日は夜間例会となっています。親睦の一助になるよう本年1年間開催致します。よろしくお願い致します。

さて、「ロータリーの親睦」とは、「acquaintance(アクエインタンス)(知り合い程度の交友)」が「friendship(友情)」で繋がり、やがて「fellowship(志を同じくする仲間)」となって互いに語り合い、切磋琢磨し協力しながら、ロータリーの理想達成を目指す仲間意識を高め高め合うこととあります。苗木は土壌が悪ければ十分に育ちませんが、土壌が良ければ立派に成長します。したがって、ロータリーという苗木の成長・発展は、「ロータリーの親睦」という土壌にかかっています。

こうした考え方がロータリーに浸透していったからこそ、「ロータリーは、親睦こそが第一」とか「親睦なくして奉仕なし」などの言葉が使われてきたのです。但し、会員同士の親睦を重要視するあまり「ロータリーの良き親睦こそが、ロータリーの全てである」というような言葉を聞くことがありますが、この考えは間違いです。ロータリーでは、「親睦」は必要で重要ですが、目的ではないし全てでもありません。例会で高められた奉仕の心で、各々の家庭、職場、地域社会において、より良い奉仕の実践に努めるロータリアンが増えていくこと。それが、「ロータリーという苗木の成長」なのです。

だからこそ、ロータリーは「ロータリアン同士の親睦を基盤に、立派なロータリアンを育てながら、価値ある奉仕を通じて、社会に貢献する世界的な団体」なのだと思います。

ロータリーでは食事につきものです。時には、今回の様な酒宴の席もあります。食事や酒宴だけなら「friendship」の間柄でも構いませんが、それが「fellowship」を築き深め合うものでなければ、「ロータリーの親睦(fellowship)」とは言えません。あくまで、ロータリーの成長・発展、ロータリーの理想達成に繋がるものでなければならぬと思います。

夜間例会を通じて素晴らしい仲間になり、意見を交換し合い、ロータリー活動を誇りに思えるようお願い、本日の挨拶といたします。